

～下の写真は～

去年、地域のみなさん・CGGに参加して頂いた、みなさんのお陰で今年のさくら通りは満開です
3月には、桜の花から新しい緑の葉へどんどん入れ替わります。
これからも地域でキレイに保ちながら季節を感じられる「さくら通り」として大切にしていきたいと思います！



ウマイー(馬追い)は シマンチュの心の頼り所だった！

イガシマのウマイーは村内で何箇所かある中で長さ広さとも大きく目立つ存在だった。
ウマイー造りを企画した先代たちの偉業が偲ばれる。ウマイーは王国時代から昭和初期まで
村人たちが集まってユンタクしあい交流の場所だった。
車のない時代で、人々の行動範囲が狭く、ウマイーに行けば誰かと会える期待感があった。
ウマイーで大きなイベントに大綱引きとウマハラシ(ウマイー)の由来になった馬追いの行事があった。
農閑期に若者たちを中心に農耕馬にまたがり手拭い(ティサージ)を頭にまき、肌が馬に乗って
思い思いに走らせていた。
競走ではなく東西を行ったり、来たりと乗馬を楽しんでいた。沿道の観客の声援で最高に盛り上がった。
男の子たち(フラビンチャー)にとって馬乗りは憧れの存在だった。
昭和初期になると、日本中が軍事色に染まり、娯楽は慎むようになり、中止に追い込まれた。

黄金言葉(クガニクトゥバ)

冬(フヨ)ー 働(ハクラ)ち、夏(ナチ)えー子(ク) 養(チカナ)リ
冬は働き、夏は子(を)養え。

沖縄の冬はそれほど寒くないので暮らしやすい。

暮らしやすいぶん、子育てにもあまり手がかからないので安心して仕事に精を出すことができる。

一方、夏の暑さはたいへんなもの。

とくに子どもは外で遊ぶことが多いので、日射病や夏負けになりやすい。また、食べ物は腐りやすく、
子どもが伝染病にかかることもある。

だから親はすごしやすい冬にしっかり働き、暑さのきびしい夏には子の健康に気を配りなさいということ。

子育ての知識として用いられる黄金言葉。

子持ちの人には「夏えー子ぬ目鼻口 ゆー見りよーやー(夏は子の目鼻口をよく観察しなさいよ)」と
いうこともよく言う。子どもは健康に育てるための見事な方法を伝えている。

後期高齢者
比嘉 常恒

充実した活動で活気ある西原をめざして
自治会加入と地域活動へのご参加・ご協力をよろしくお願いします！

西原自治会

TEL:876-0484 FAX:894-2925



令和 7 年 3 月 号

西原自治会だより



西原一区・二区自治会長 選挙!!

令和7年3月16日(日)

場 所 / 西原公民館

時 間 / 9:00~18:00

選挙方法

- ❖ 自治会加入者(25歳以上)1世帯1票。
- ❖ 西原一区にお住まいの方は一区への投票、西原二区にお住まいの方は二区への投票、
必須となっております。
◎投票用紙も一区・二区で色分けしておりますので予めご確認ください。
◎受付の際に、お住まいの一区か二区か、受付の役員にお申し付けください。
- ❖ 投票日には、常時、選挙管理委員会役員がおりますのでご不明点などありましたら、
会場(公民館)にいる役委員へお聞きください。

投票用紙 記入例

どちらかに○をお付け下さい。

立候補者名

西原
タロウ

立候補者名

西原
ハナコ

← ○ 付け位置 →

西原一区自治会長
久松 真

浦添市教育委員会から表彰状頂きました！

あなたは多年にわたり本市社会教育の発展に大きく
寄与されましたその功績は誠に顕著であります
浦添市教育委員会



西原一区自治会長 立候補者



ひが むつお
比嘉 睦男

この度、西原一区自治会長に立候補いたしました比嘉睦男で屋号は貞保新屋の三男です。

私は、二十歳過ぎから長らく内地に住んでいて4年前に帰って来ました。今は自治会の評議員として活動しています。

今回、久松 真会長が勇退することをきいて会長に立候補することを決めました。

この西原集落には 拝山(ウガン山)、フート屋、東ガー、地頭火之神等多数文化的価値の高い場所が数多く点在するところであり、他の地域にはない歴史がある集落だと思います。西原地域は戦前から住民の入れ替わりが殆どなく皆顔見知りで強いきずなで結ばれている地域でもあり自治会活動もやりがいがあると思います。



たにざき よういちろう
谷崎 洋一郎

私、谷崎洋一郎は東京生まれの東京育ちで、令和3年9月に西原2丁目に移住したナイチャーです。翌年の4月から「にしはら公民館カフェ」を地域の方々と共に運営する中で現在、代表を務めさせていただいています。

私が自治会長になった暁には、地域の皆様の安心・安全を守りつつ皆様の声に耳を傾けて、なお一層の絆を強め、西原に住んでいて良かったと思われるように務めます。

私は「和を以て貴しと為す」を座右の銘として、今までの人生を歩んで来ました。これからも同じです。機は熟しました。

75歳の挑戦を見届けていただければ幸いです。

西原二区自治会長 立候補者



たなはら しんすけ
棚原 真助

自治会は、一定の地域に住む人たちが住みよい、豊かな街づくりを目指して地域のふれあいの輪を広げて人々と連帯意識の向上に務めるもので、西原地域で仲良く助け合い暮らしていく事を目ざして地域全員で行うものです。私たち日常生活の場である、地域社会には、子供や年配の方の、交通安全問題・非行防止問題・防災・防犯問題、公園、緑化対策など、生活環境を取り巻くこれからの問題は個人や家庭の力では、解決することが難しく、地域住民が協力し、力を合わせて解決する必要があります。地域行事等も含めて、地域住民全員で頑張っていきたいと思います。



ふじもと ひろあき
藤本 浩明

プロフィール 藤本 浩明 62歳

那覇出身 父大宜味村 母西原町出身

首里高卒 琉大短大部法経学科中退

元沖縄県警察官/宜野湾署 機動隊 捜査一課 宮古署 浦添署

暴対課 那覇署等、一昨年沖縄署で定年退職

令和5年に二区自治会加入、去年4月から二区評議員、

自治会の軽トラを使用し青パト(防犯パトロール)を実施中

現在(公財)沖縄県防犯協会連合会で勤務

妻(前田出身) 子3名孫4名

平成5年西原4丁目に新築、子3名とも当山小、浦西中卒、一昨年住宅を長男(当山小事務)に譲る

西原に移り住みこと30年余り、地元出身ではなく血縁関係はありませんがニシバルの伝統行事等を継承し、二区自治会がより一層、発展活性化するように頑張ります。